

## お知らせ

町の教育委員会では、おじゃれホール「ホール技術者」の新規募集を予定しています。

研修日 平成30年2月3日(土)、4日(日)

部門 音響、照明、舞台

興味のある方や研修を受けたい方は、事前に教育委員会・教育課生涯学習係にお問合せください。

## 1月～3月のイベント(協会主催・後援、加盟団体主催等)

※協会主催・後援、協会加盟団体の催しを中心に掲載しています。その他の催しは八丈島文化協会サイト内の「八丈島イベントカレンダー」をご参照ください。

1月20日、27日、2月10日、24日、3月3日 第12回八丈島歴史セミナー

2月18日 八丈島文化フェスティバル(作品展部門は2月12日～)

3月15・16日 第74回八丈島民大学講座

◆文化協会の活動をしていると、協会会員の日常活動が活発なのに感激する。私も敗けないようにと、島の多様な文化活動を、皆さんとともに、文化の地域づくりにつなげ、コーディネートしていくのか……そんなことを四六時中考えていることが日課になる。◆通常、協会方針は役員会で活動原案を検討し、理事会で具体的に煮詰めながら決定し、計画を具体化するのが常であるが、白熱化して活動の方向性がすんなりまとまらないことも多い。検討会議は深夜の時間帯に及ぶこともある。◆協会組織の動きはもつと会員さんの方に向いていないか……というのも、常に頭にある猛省である。そんな反省を尻目に会員の皆さんの最近の「自主公演(自主活動)」の芽はあちこちで見張るものがあり、活性化してきているなあと思うのが嬉しい感想である。◆最近の例を見ても、会員によるおじゃれホールなどの自主公演は次のようである。「八丈ウインドオーケストラ」、「音楽アンサンブルConArma」、「Mistle Ballet」、「八丈島あそびと文化のNPOあびの実」、「檜会」ほか日舞の団体等。◆文化団体の自主活動スタイルは、島の地域文化振興にとって実に好ましい環境を創出してきている。協会としても大いに

## 文協「ラム南風」

### 『自主公演』

No. 16

支援、後押しをしたいと思います。地域デビューしたいと思っても二の足を踏んでいるサークル、団体に支援できる制度も設立出来たらと切に思う。◆平成30年度予算は、いま、八丈町・八丈町教育委員会に要請・折衝中だが、第30回の記念大会となる文化フェスをはじめ、地域文化環境づくりへの予算確保に奮闘中である。全国的に長期にわたり自治体を襲っている財政事情の窮状で、思うようにいかないジレンマに悩んでいる。◆それでも、島の文化環境づくりを進めるのは、住民組織である文化協会と、地域活性化の大きなキーポイントを発信する町当局との、協力した協働の活動しかないというのが協会の指針であり、日頃から実践しているところである。町当局の文化活動の方向付けも理解しながら、町との日常的な協働を追求している。◆活動の活性化はまず実践することから起爆する。その積み重ねの上に、自分たちのサークルに合った自由で多様な創造性ある発想を日常活動に組み込んで、楽しい文化活動を考えることだと思ふ。それを活動の理論化というのだろうか。◆「実践化」と「理論化」は物事を進める上で欠かせない大切な要素なんだなあと、会員の自発的な自主活動が活性化に果たす効果の大きさに感激しながら、理論と実践を思っている。

(会長 内山江差夫)

# 八丈島文化協会 会報 第21号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833

HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: [bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp](mailto:bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp)

2018年1月9日発行

# 2018年 成年 おめでとうございます

八丈島文化協会 会長 内山江差夫

## 今年も多様な文化イベントをお届けします

新年明けましておめでとうございます。

年月の経つのは早いもので文化協会も設立から6年目の活動を進めています。会員と理事、職員が一体となる活動を心がけながら、元気に日常活動の充実に努力しています。

旧年の文字世相は「北」、「付度」、「格差」……などに代表されるでしょうか。こんな言葉を耳にしてきた旧年でしたが、聴くたびに混迷の続いた1年だった思いを強くします。新年こそ文化の香りが漂う豊かな1年でありますように、文化の地域づくりに一生懸命に精を出していきたいと思っています。

2018年の文化協会は、2月18日に第29回文化フェスティバル、3月15・16日に第74回八丈島民大学講座を開催します。4月からの新年度には第6回JAZZフェス、第6回芸能文化祭、子ども文化体験事業(無料舞台鑑賞)、八丈小島体験事業、第30回記念文化フェス、第75回島民大学講座(9月)・第76回島民大学講座(3月)、などのイベントを主催します。また、島内会員団体等のイベント後援、文化事業への協賛・後援、島外からの招聘団体・劇団との共催、後援など、楽しい舞台芸術鑑賞の機会を考えています。

今年もご期待に応えられるよう頑張ってお参ります。新しい2018年も、文化協会活動の発展にご協力をお願いいたします。



# 第29回八丈島文化フェスティバル、 2月18日に開催！

舞台部門には初参加の2団体を含む18団体が出演、作品展部門には4人と3団体が出展します。現在、本番にむけて、練習や制作活動に励んでいるところです。ぜひたくさんの方々に、その成果をご覧いただければと思います。ご来場お待ちしております。

なお、昨年、八丈島文化フェスティバル「Facebookページ」を開設しました。文化協会のTwitterと連動して文化フェス情報を発信していきますので、ぜひチェックしてみてください！

## 【第29回八丈島文化フェスティバル】

(詳細は「広報はちじょう」2月号に折り込み予定のプログラムをご覧ください。)

主催 八丈島文化協会、八丈島文化フェスティバル実行委員会

後援 八丈町 八丈町教育委員会ほか

舞台部門 2月18日(日) 10時~18時 八丈町多目的ホール・おじゃれ

※町カフェ(ロベの会)が今回も11時よりオープンします！

### [出演団体と出演予定時間]

※時間は予定です。前後する場合がありますので余裕をもってご来場ください。

#### 10時~

- ①Gold Breath(ゴールドブレス) = 演奏
- ②TAIQI(タイチ)太極拳練習会 = 太極扇、太極剣、太極拳

#### 11時~

- ③無名劇団(仮) = 演劇
- ④八丈島民謡保存会(榎立太鼓会) = 八丈太鼓
- ⑤カレオオラカイアパナ ~カパーフラオカウルレファ = フラ

#### 13時~

- ⑥八丈太鼓月曜会 = 八丈太鼓
- ⑦コウリマナニエ = フラ
- ⑧千田美鈴(ソプラノ独唱) = ソプラノ独唱 ★初出場

#### 14時10分~

- ⑨フラメンコサークル = フラメンコ
- ⑩声楽アンサンブルCon Anima(コンアニマ) = 少人数合唱
- ⑪檜之扇会 = 日本舞踊

#### 15時20分~

- ⑫日本民謡 朝元会 = 日本民謡
- ⑬八丈混声合唱団 = コーラス、オペラ
- ⑭Heat up(ヒートアップ) = ヒップホップダンス

#### 16時30分~

- ⑮八丈島soka栄光バンド = バンド演奏
- ⑯たいむ'sスクエア = アカペラバンド ★初出場
- ⑰ちょんこめ作業所 = 三本柳さんさ踊り
- ⑱M-isle Ballet(エムアイルバレエ) = 小品集コンサート

### 作品展部門

2月12日(月)~2月18日(日) 9時~17時(初日のみ13時~)  
町民ギャラリー(町庁舎1階)

#### [出展者]

村田乃撫子 = 組み木絵  
松本恭子 = ガラス細工  
東海林ミモザ = 刺繍作品  
加納顕史郎 = 鉄道模型  
八丈の布絵本結ゆい = 布絵本・布おもちゃ  
Lemon and Smile = クラフト・洋裁  
八丈高校定時制 = 書道・切り絵・海藻押し葉他



# 第74回島民大学講座

酒井啓子千葉大教授が語る

「中東世界の宗教と政治」

米国大統領が、「イスラエルの首都はエルサレムだから大使館をエルサレムに移す」と宣言して国際的な批判を受けています。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教それぞれが「聖地」とするエルサレムについては、宗教と政治の複雑な絡みのなかで、時間に解決をゆだねようと長い間あえて触れないようにしてきたのです。

第二次世界大戦終了後も紛争が絶えず、安住の地を失ってさまよう多くの難民を生んでいる中東世界は、今また新たな火種を抱えることになりました。民族・宗教・政治的対立の根本にあるものは何か。遠くて近い中東世界と日本との関わりについて考える講座を計画しました。ふるってご参加ください。

テーマ 中東から見える日本と世界(仮題)

講師 酒井 啓子(さかいけいこ) 千葉大学教授 兼 グローバル関係融合研究センター長。

専門は、中東政治。第21代日本国際政治学会理事長(2012年 - 2014年)を歴任。

著書 『<中東>の考え方』講談社現代新書、

『中東から世界が見える イラク戦争から「アラブの春」へ』

岩波ジュニア新書、『移ろう中東、変わる日本 2012-2015』みすず書房など

日時 3月15日(木)・16日(金) 午後7時から8時30分まで

会場 七島信用組合八丈島支店 2階ホール

受講料 無料

賛助会費 1口 500円

主催:八丈島文化協会 後援:八丈町教育委員会 協賛:七島信用組合

## ルドルフと イッパイアッテナ

人形劇団 ポポロ  
10月7日実施

”第91回あびの実招待公演”今回で4回目になります。

たくさん来てくれるかなー。楽しんでもらえるかなー。

観客数は約200名！！いつもの倍の多さで、感激しました。小学生の参加が多かったこと、そして、子供も孫も連れていない大人の方々も多かったのです。原作の力、ですね。笑うところは笑い、戦いの場面では息をのみ、悲しいところはじっくりと、鑑賞力もすばらしく、劇団の人も大満足でした。

主役はルドルフとイッパイアッテナ。この2匹(2人)は舞台にほぼ出ずっぱり。ほかには、ブッチー、デビル、クマ先生、リエちゃん、その他大勢が出てきますが、これは他の3人の役者さんがとっかえひっかえ演じます。

場面はといえば、ルドルフが東京へ来てしまった顛末に始まり、図書館、病院、対決の場、などいくつも代わります。これは、キューブの面の色、組み合わせを様々に変化させながら、作っていきます。キューブが作る病院を表す赤十字マークや日本地図は秀逸なアイデアでした。劇の間に入るドラムやトランペットなどの生演奏も、心情を表したり、場面を演出する大切なエレメントになっていました。

人形を操りながらも、時には人間として、時には大道具係、時にはミュージシャン。そうやって演じられたルドルフとイッパイアッテナの友情の物語でした。

